

(様式1)

令和4年度 岩手県立大野高等学校 学校評価報告書

校長： 北田 義徳

総括的な評価	学校経営への一定の評価が持続していると考えられる。中でも、授業や教育相談への評価が特に高く、学校に対する安心感や信頼感につながっている。その結果、今年度は募集定員半数以上の志願者確保につながった。次年度からスタートする学校運営協議会と協働し、さらに地域の期待に応える学校を作りたい。また、一人ひとりへの親身な指導に対する高評価を維持し、さらに ICT 教材スタディサプリ活用により個別最適な学びを推進する。
--------	---

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
1 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。	・ 授業に関するアンケート調査 満足度 総ての教科で平均 90% 以上	・ 授業に関するアンケート調査 満足度 (A+B) 全ての項目各教科 90%以上 各教科平均 95.8～99.6 【達成】 各教科達成率の平均 97.9%	○	・ 全項目で目標を達成した。教員間の授業見学も全員が行った。各学年の通信環境も整い、職員の ICT 等の習熟も順調に向上している。平日の自学学習時間が1時間程度であり、来年度は増加させたい。	・ 平日の学習を充実させるために、ICT 等を使った課題の提示を工夫し、生徒の興味関心の喚起を促す。
2 キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。	・ 3年進路達成率 100%	・ 進路達成率 100%(16/16) ・ 国公立大学1名【達成】	○	・ 就職内定生徒の辞退があったが、適切に対応した。 ・ スタディサプリの2回目の到達度テストを活用し、休業中の課題配信などに活かしていきたい。	・ 「個々の特性に応じた進路指導」についての評価は年々高まっている。今後も一人ひとりに応じたキャリア指導を充実させる。 ・ ICT アプリを活用し、個別の学力や進路希望に合わせた学びの充実を図る。

3 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。	・学校評価で「自己有用感の醸成」について生徒及び保護者満足度 「できている」の割合 90%以上	・学校評価「自己有用感の醸成」 生徒 94.5%【達成】 保護者 92.5%【達成】	○	・自然の恵みや地域の文化に触れ、自己理解や他者との関わり、また地域に貢献する意識を高めることができた。 ・久慈平荘との合同避難訓練は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。	・生徒の主体性を大切にした企画や行事企画や運営を継続する。また、地域の行事への参加をさらに促す。 ・連絡を取りながら、開催できる方法を検討する。
4 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	・学校評価で生徒及び保護者の満足度 いじめ防止の取組 「できている」の割合 92%以上	・学校評価「いじめ防止の取組」 生徒 98.2%【達成】 保護者 98.1%【達成】	○	・アンケートにより、いじめを認知し早期に対応することができた。	・職員会議を通して、いじめ防止基本方針を年度始め周知していきたい。いじめ啓発ポスター作成や情報モラルアンケートを実施し、生徒の取組の充実を図りたい。
5 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む。	・学校評価「学校生活への満足度」について生徒及び保護者の満足度 85%以上	・学校評価「学校生活への満足度」 生徒 96.4%【達成】 保護者 88.7%【達成】	○	・学校アンケートでは、「一人一人のことを考えて接し、指導している」という趣旨の記述が多かった。	・学校運営協議会と協働し、生徒が活躍できる場をさら設け、学校の魅力を発信したい。